



平成 24 年 11 月 2 日

各 位

東 京 都 渋 谷 区 東 1 - 2 6 - 2 0
ア ル フ ァ グ ル ー プ 株 式 会 社
代 表 取 締 役 社 長 最 高 経 営 責 任 者 上 岳 史
(J A S D A Q ・ コ ー ド 3 3 2 2)

問 合 せ 先

常 務 取 締 役 最 高 財 務 責 任 者 西 原 哲 司
電 話 番 号 0 3 - 5 4 6 9 - 7 3 0 0 (代 表)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成 24 年 5 月 15 日に公表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 25 年 3 月期 連結業績予想の修正

①第 2 四半期連結累計期間業績予想値の修正 (平成 24 年 4 月 1 日～平成 24 年 9 月 30 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四 半 期 純 利 益	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	10,346	186	183	113	3,824 円 42 銭
今回修正予想 (B)	10,884	248	249	154	5,219 円 23 銭
増減額 (B-A)	538	62	66	41	
増減率	5.2%	33.3%	36.1%	36.3%	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成 24 年 3 月期第 2 四半期)	10,558	175	178	92	3,137 円 93 銭

②通期連結業績予想値の修正 (平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	23,200	400	394	237	8,021 円 12 銭
今回修正予想 (B)	21,500	450	450	260	8,798 円 35 銭
増減額 (B-A)	△1,700	50	56	23	
増減率	△7.3%	12.5%	14.2%	9.7%	
(ご参考)前期実績 (平成 24 年 3 月期)	22,996	419	425	226	7,658 円 39 銭

2. 平成 25 年 3 月期 個別業績予想の修正

①第 2 四半期累計期間個別業績予想値の修正（平成 24 年 4 月 1 日～平成 24 年 9 月 30 日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	2,700	27	16	541円51銭
今回修正予想(B)	2,944	46	36	1,245円20銭
増減額(B-A)	244	19	20	
増減率	9.0%	70.4%	125.0%	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成 24 年3月期第2四半期)	2,873	45	22	773円72銭

②通期個別業績予想値の修正（平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	5,500	42	21	710円73銭
今回修正予想(B)	5,869	48	33	1,116円71銭
増減額(B-A)	369	6	12	
増減率	6.7%	14.3%	57.1%	
(ご参考)前期実績 (平成 24 年3月期)	5,843	50	6	206円43銭

3. 修正の理由

(1) 連結業績予想の修正について

当社グループの当第 2 四半期連結累計期間につきましては、既存事業の販路拡大に努め、強固な基盤を構築することを優先事項とし売上高の確保に努めてまいりました。モバイル事業におきましては、販売台数の増加を主目的として、高いシェアを占める関東圏に加え、九州、東海中国地域での将来の安定収益の確保のため、新規出店に努めると共に販売店支援に注力してまいりました。

しかしながら、国内携帯電話市場において、半導体を中心とした主要部品の供給不足により最新スマートフォンの出荷台数が伸び悩んだこと、iPhone 5 発売の期待感からユーザーの買い替え需要が停滞したことなどにより出荷台数が減少し、当社の販売店にも影響が及んだことから、当第 2 四半期連結累計期間の販売台数は約10万4千件となり、対前年同四半期比、約7千件減少(6.6%減)し、当第 3 四半期以降につきましても販売台数の減少が継続するものと予想いたしております。

各段階利益におきましては、主に水宅配事業において、水源となる地域での地震発生の可能性や、東海地震の発生率予想の発表等にもありますとおり、地震による地殻変動によって地下水の水圧の変化から水質の変化等が生じる可能性があり新規顧客獲得の取り止めを決定し、獲得コストが発生しなかったことから販売管理費が圧縮されております。

この結果、当第 2 四半期連結累計期間業績予想数値につきましては、売上高 108 億 84 百万円、営業利益 2 億 48 百万円、経常利益 2 億 49 百万円、四半期純利益 1 億 54 百万円となり、前回予想を上回る見込みであります。

以上の要因により、当第 2 四半期連結累計期間業績予想数値を修正いたします。

通期の連結業績予想につきましても、売上高 215 億 0 百万円、営業利益 4 億 50 百万円、経常利益 4 億 50 百万円、当期純利益 2 億 60 百万円を見込んでおり、前回予想数値を修正いたします。

(2) 個別業績予想の修正について

個別業績につきましては、予定していた人員の補充が遅れたことに加え、引き続き販売管理費の節減に注力いたしました結果、売上高 29 億 44 百万円、経常利益 46 百万円、四半期純利益 36 百万円となり、前回予想を上回る見込みであります。

以上の要因により、第 2 四半期累計期間個別業績予想数値を修正いたします。

なお、通期個別業績予想数値につきましては、第 2 四半期累計期間個別業績の上振れの要因により売上高 58 億 69 百万円、経常利益 48 百万円、当期純利益 33 百万円を見込み、前回予想を上回る見込みであります。

以上

※業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき予想したものであり、実際の業績はさまざまな要因により、これらの予想値と異なる場合がありえることをご承知おき願います。